



大工が作る笑顔があふれる空間

大工小林 株式会社

けん せつ ぎょう
建設業

所在地 新城市有海字住吉9番1 TEL 0536-31-0521



大工が作る家へのこだわり

社名のとおり、大工が家を建てる会社です。あえて「大工」と入れた理由には、自身も大工である、小林裕樹社長の強い想いがあります。日本の家づくりは、「棟梁」と呼ばれるリーダーのもと、大工たちがカンナやノミなどの大工道具を使い、その技術で木材を削り刻んで柱や梁を組み合わせ、一軒の家を建てるのが主流でした。



大工と経営者の
2役をこなす小林社長



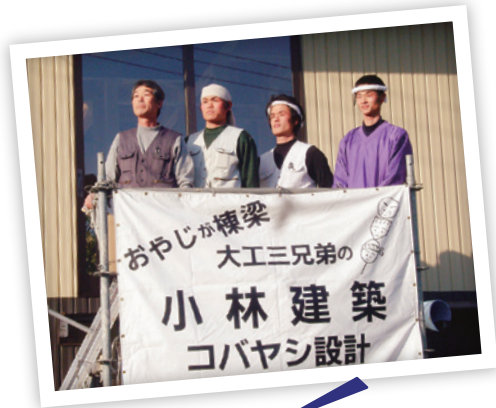
失われていく職人の技

専用の工作機械で簡単に均一な建築材を製造することができる「プレカット」と呼ばれる工法が普及し、最近の建築現場では組み立て作業が仕事の大部分を占めるようになりました。とても便利である反面、機械さえあれば、職人を育て、技術を磨く労力が不要となるため、「職人」と呼ばれるような大工の技術は失われつつあるのです。

おや こ にん かい しゃ つく

親子4人で会社を作る!

そもそも、小林社長が大工になろうと思ったきっかけは、腕の良い大工だった父・純二さんの影響です。「大工の仕事は作ったものが形に残り、お客さんに喜んでもらえる。大工はいいぞ」と父から教えられ、工業高校を卒業後、豊橋の建築会社で大工の技術を学びました。2001年には、純二さんを棟梁に、同じく大工の道に進んだ2人の弟とともに、自分たちの会社「小林建築」を創業します。父と子の大工4人で力を合わせ、理想の家づくりに取り組みますが、創業から10年経った2011年、病により純二さんがこの世を去ってしまいます。小林社長は33歳の若さで突然、会社を受け継ぐことになりました。



おち せな み そだ
父の背中を見て育った
兄弟3人が
ともに大工の道へ



いえ づくりは、かぞくが
しあわ せに すごせる
くわん づくり



だい く こ ばやし め ざ

大工小林が目指すもの

あた たら しゃ ちょう しゃ めい だい く こ ばやし あらた
新しく社長となり、社名も「大工小林」に改め、
決意を新たに経営に乗り出します。しかし、大
工の経験はあっても経営者としてはゼロからの
スタート。日本全国を回り、様々な会社の勉強
会やセミナーに参加しました。「行っていない都
道府県はない」というほど多くの場所を訪れ、
いろいろな人と会うことで、自分の目指す家
づくりの形が見えてきたといいます。それは、お
客さん一人一人と向き合い、心から満足しても
らえる「笑顔あふれる空間」をつくり出すこと。

笑顔があふれる家づくり

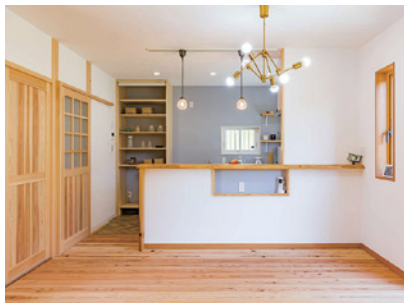
お客さんが満足する家づくりのために、最新の建築技術とデザインを取り入れていくことはもちろん、父・純二さんの時代には、一人前の大工なら誰もが持っていた職人の技を受け継いでいくことが大切だと小林社長は言います。建てる前にしっかり打ち合わせをしても、「ここに棚を作りたい」「部屋を2つに仕切りたい」など、もっとこうしたいという要望が出てくるものです。そんな時、その場で材料を加工して、臨機応変に家を建てられるかどうか大工の腕前が試されます。小林社長の目指す「笑顔あふれる空間づくり」には、お客さんの願いを形にできる技術を持った、大工の存在が欠かせないのです。

あたらしいデザインを取り入れた展示場が完成



木材は地元三河材や国産材をなるべく使うようにしています

1棟ごと個性のある家を建てています



大工であることの誇りを胸に

現在、大工小林では、年間2〜6棟のペースで新築の家を建てています。また、床の張替えやキッチンの改装、外壁の塗装やバリアフリー工事など、様々な家のリフォームも行っています。仕事の大小に関係なく、どうしてもお客さんに満足してもらえないか、時には社員のアイデアを取り入れながら、大工小林にしかない家づくりを追求しています。その原点には、「大工はいいぞ」と教えてくれた父の言葉と、大工は一流の技術を持った職人であるという誇りがあるのです。



大工さんに聞きました!



こばやし つかさ
小林 司さん



おおばやし ひろみ
大林 広己さん



たなか よしき
田中 良樹さん

大工は、お客さんの夢が
まった「家」という形を残す
ことができる仕事です。常
に楽しく仕事をするこ
ころを心がけています!

大工で培った技術を生かして、い
ろんな木製品を作る自分の工房を
始めました。大工の仕事も工房も
楽しんでやっていきたいです。

「仕事はコツコツ
いねいに」を心がけ
ています。大工はイ
メージを形にできると
ころがいい所かな。

好きなことを仕事に生かす

趣味で始めた「チェーンソーアート」は、大きな大会で賞
を獲得するほどの腕前を持つ小林社長。建築で余っ
てしまった木材を、素敵なアート作品やおしゃれな木製
のボールペンに生まれ変わらせて、大切な資源を極力
無駄にしない取り組みも行っていきます。



社長からみんなに MESSAGE

「自立心」を持ってやりたいことに挑戦しよう!

無理とかできないとか自分で決めてしまう前に、まずやってみ
る、チャレンジすることが大事だと思います。例え失敗したって
構わない。何がダメだったのか反省して次につなげれば大丈夫。
それから、人と関わること、人から学ぶことがとても大事。そ
のなかで、なりたいたい自分の姿や進むべき道が見えてくるはず。
自分の足で力強く進む力「自立心」を育ててください。



代表取締役
小林 裕樹さん